

1999 ■日本 ■タイ

WAFCA・WAFCAT設立

自動車部品メーカー(株)デンソーの創立50周年記念の社会貢献事業の一環として設立され、同年12月にNPO法人として発足。「車いすを通じて、アジアの国々のバリアフリー社会実現に寄与すること」を目的に、デンソーが初めて海外に生産拠点を設けたタイで活動をスタートした。同年、現地事務所「WAFCAT」を設立した。



1999

2000

2001

2002

2003

2004

2005

2001 — ■タイ
2007 — ■中国
2015 — ■インドネシア

フレンドシップツアー開始

活動の状況や障がい者の現状を現地で直接肌で感じてもらう目的で会員向けのツアーを開始。現在も各国で継続して実施され、現場の生の声を聞いてWAFCAの活動意義や成果を直接会員と共有できる貴重な機会となっている。



2003 ■タイ

アフガニスタンへ車いす支援プロジェクト



「民際センター」と協働してThai Wheel製の車いす100台を海路と陸路でアフガニスタンの障がい者へ届け、アフガニスタンの復興支援に貢献した。

2000-2009 ■タイ

車いす工場「Thai Wheel」完成 生産支援開始

WAFCAの車いす普及活動の拠点となる車いす工場が完成。デンソータイランドの技術者の指導のもと、車いすや義足の人たち自らによって本格的な車いす生産が開始された。



2000/2003 ■タイ

障がい児教育支援事業開始

障がいのある子どもが就学できる環境を整えるため、障がい者用トイレの改修、エレベータを設置するなどの教育支援への第一歩を踏み出した。2003年には「日本民際交流センター(現・民際センター)」と協働で障がい児教育支援事業を開始。就学の機会を増やすきっかけとなった。



2002-2004 ■タイ

車いす生産・修理 トレーニングプログラム開始

タイ及びアジア諸国から車いす技術者を招きThai Wheelで車いすの製造と修理に関する技術研修会を実施。参加者の母国の技術向上とWAFCA活動のためのネットワーク構築を目的とした。



2005 ■日本

車いすバスケットボール アジア交流大会

愛・地球博会場のEXPOドームで中国、韓国、タイ、フィリピン、マレーシア、日本の6か国参加による車いすバスケットボールの交流大会を実施した。大会観戦を通じて、多くの人に障がい者への理解を深めてもらうきっかけになった。

2009 ■日本

車いす病院開設



WAFCA事務所がある「ふれあいプラザゆうきそう」で車いす修理工房として開設。修理活動を通じて、地域の皆さんとの繋がりを深めていくことを目的に現在も続けている。

2009 ■タイ

自宅バリアフリー化支援事業立上げ

障がい児の日常生活に寄り添うため、自宅に車いす用のトイレやスロープ等を設置するプロジェクトを開始。調査から工事まで地域参加型で行うことで、住民の障がい児への理解が深まるなど、当事者にも満足いただける事業として活動中。



2012 ■日本

WAFCA独自の奨学金支援開始



2003年から教育支援事業で協働していた民際センターから自立し独自に支援を開始。民際センターから学んだことを生かし、奨学生の調査、選考、学校や教育委員会との関係構築などに試行錯誤で取り組んだ。

2013 ■中国

中国雲南事業開始

北京での活動に区切りを付け、雲南省での活動を開始。障がい者が多く在籍する華夏中等专业学校（現在は雲南省特殊教育職業学校）と協定を結び、車いすと奨学金を提供するとともに、日本と中国の若者の交流をメインに活動を行っている。



2006

2007

2008

2009

2010

2011

2012

2013

2014

2006 ■タイ

2014 ■インドネシア

学校バリアフリー化支援事業立上げ

障がい児が通う一般の学校や特別支援学校に車いす用のトイレ、スロープ、手すり等を設置するプロジェクトを開始。WAFCAが初めて外務省の草の根助成金より援助を受けて実施した事業。当時タイではバリアフリートイレの認知度が低く、学校や地域の理解・協力を得るのに苦労した。のちに、「みんなにやさしい学校づくりプロジェクト」として現在までに60校以上で支援を行っている。2014年にはインドネシアでWAFCAI設立に先駆けて外務省草の根助成金により5校でトイレを建設し、その後のWAFCAIの本格的な活動に弾みをつけた。



2007-2012 ■中国

中国北京事業立ち上げ

東アジア地域での活動拡大を視野に中国北京にある「北京聚鵬科教発展中心(べきんしゅうほうかきょうはってんちゅうしん)」に対してThai Wheelと同様の車いす生産ができるように技術的な支援と一部の車いすを買い上げて中国での寄贈活動を実施。



2010 ■タイ

パキスタンへ車いす緊急支援

パキスタンで洪水被害に遭った障がい者に対し、バンコクにある「アジア太平洋障がい者センター」と協働しタイ航空の支援も得ながら、Thai Wheel工場製の車いす20台を緊急輸送。WAFCAにとって数少ない緊急支援の事例。



2014 ■インドネシア

インドネシア事務局立上げ

海外2つ目の活動拠点として、インドネシアのジャカルタに事務所を立ち上げ。現地NGOやデンソーインドネシアと協働し、WHOのガイドラインに基づく車いすサービス支援モデルを確立。設立から5年間で約700台の車いすを提供した。さらに、現地政府関係機関やNGOとプロバイダー協定を結び、より効率的で効果的な車いすサービスを行っている。

2017 ■タイ ■インドネシア

車いすダンスの普及活動を開始

脳性麻痺など重度の障がいがある子どもたちでも車いすに座ったまま楽しめる活動として、寺田恭子理事の指導のもとタイとインドネシアで活動を開始。自力では手足を動かさない子どもがお母さんと手をつなぎ、音楽に合わせて車いすごと回転するなどして一緒に楽しめると好評で、現地で少しずつ参加の輪が広がっている。



2017 ■タイ ■インドネシア

2019 ■中国

障がい児教育支援基金を立上げ

タイ教育支援事業(奨学金指定寄付)を見直し、基金化。これにより、奨学金の本来の目的が明確になり、奨学生の状況に合わせた支援になった。同時にインドネシアや中国雲南省でも支援を開始。



2015 2016 2017 2018 2019

2015 ■タイ

政岡基金立上げ

WAFCAT設立の立役者であり活動に多大なご尽力いただいた副理事長の政岡 勲氏が2015年1月に急性骨髄性白血病で急逝。遺志を継いだご遺族からの寄付で基金を設立。タイの車いす支援事業に充てている。



2019 ■タイ

タイで車いすサービスセンターを開設

車いすを子どもたちの身体に合わせて調整するサービスを提供するために、独自のサービスセンターを新たに立上げ。センターを起点に、遠隔地への訪問サービスも継続実施中。将来はタイで全国数か所に拠点の設置を目指す。

